

令和2年度 第2回安全教育研修実施記録

原子力事業所安全協力協定第3条第1項第2号に基づく安全教育に係る協力活動は、「令和2年度原子力事業所安全協力協定年間活動基本計画」に基づき、令和3年1月28日の開催に向けて関係各所と準備を進めてきた。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、1月18日から2月7日までの期間での茨城県独自の緊急事態宣言が県内全域に発令された。

そのため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、研修用テキストによる自主学習へ変更することとした。

そして、1月18日付、原子力事業所安全協力協定安全協力委員会委員長名での「令和2年度第2回安全教育研修の自主学習への変更について（通知）」を送付するとともに、研修用テキスト（シミュレータによる運転体験、放射線測定体験）を郵送して、各自が都合のよい時間・場所で自主学習を行った。

・当初の開催計画

〔開催日〕 令和3年1月28日（木）

〔場 所〕 日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海総合研修センター

〔受講者〕 協定加盟5事業所の7名（受講申込事業所一覧は別紙のとおり）

〔講 師〕 日本原子力発電株式会社 東海事業本部

東海総合研修センター講師

東海第二発電所 渉外・報道グループマネージャー

〔研修カリキュラム〕

（講話）東海第二発電所の近況について

（実習）① シミュレータによる運転体験

② 身の周りの放射線測定体験

以 上